

## 地図ソフト（カシミールでコース作成と印刷）で遊ぼう：番外編

カシミールの解説本（ソフト・地図のDVD・CD付き）の付属地図があるとカシミールの中で立体表示も可能になります。カシバードという立体展望図も描くことができます。これらはコピーでは使えませんが、試してみたい方は声をかけてください。

### 1. 「無料のウォッチず利用」と「解説本の地図利用」の比較

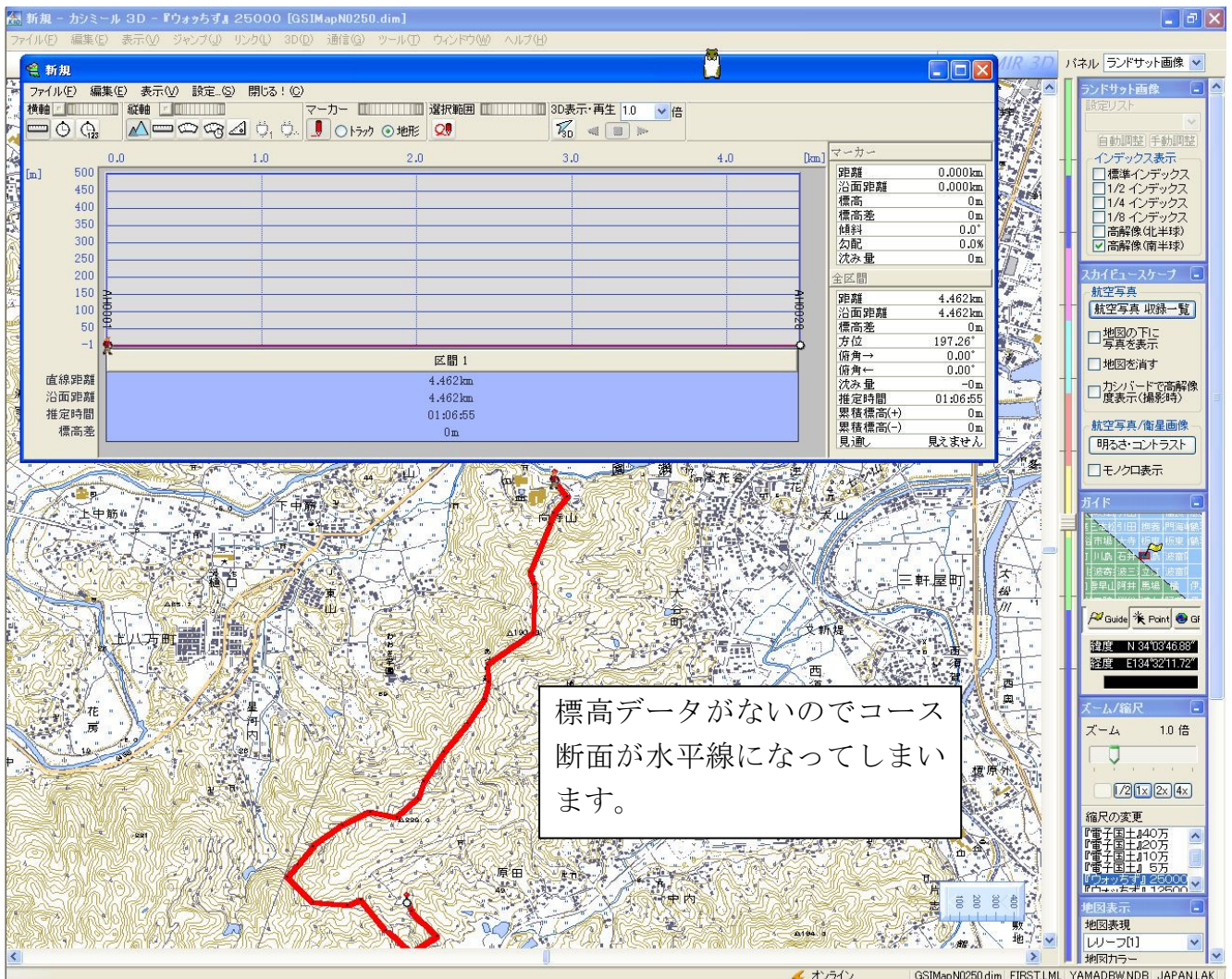
#### ・無料のウォッチず利用

長所 無料。地図全般の大元となる国土地理院の地図である。6500分の1まである。  
短所 インターネット環境でしか使えない。標高データがなく、立体表現ができない。地図表示まで時間差がある。試験公開で中止になる可能性もある。

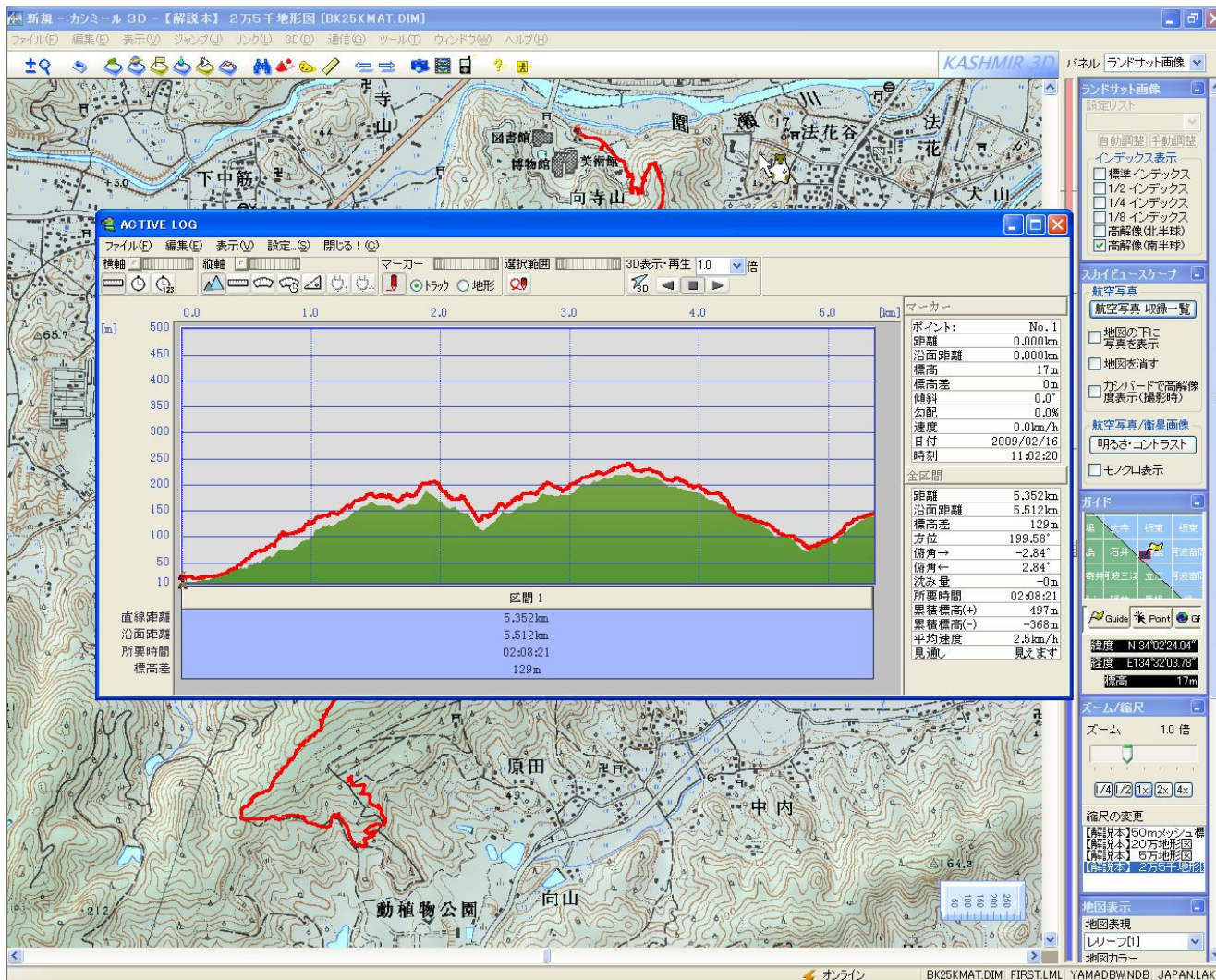
#### ・解説本の地図利用

長所 ハードディスクにいれば地図表示が速い、インターネットに接続なしで使える。標高データが入っているので立体表示の機能を使える。表示の色などを見やすく改良している。  
短所 本の購入が必要。順次出版されてきたので、複数を購入しないと全国網羅できないし、初めてだとどういう順番でインストールするのか判りにくい（改善されました）。一通り揃えると8800円、最低限で2000円くらい。

### 2. ウォッチずでの表示例



### 3. 解説本の地図での表示例



標高データが入っているなので、断面図も表示されコースの標高差、累積標高なども判ります。また、カシバードを起動すると、展望図とコースが表示できます。

